

平和な社会はまもれない、

新婦人に入って女性^{たば}は東^{たば}になろう

おしゃべり・行動する

入会した人の声を紹介します

1人じゃない

高市総理の言動から本当に戦争をする気だと思えば、何だか「新日本婦人の会」のノボリを見かけました。ひとりで活動するより、このような会に入りた、と近くの公民館でのおしゃべりに参加。ひとりで政治のことを悩んでいて、相談できる人もいなかった。で、苦しみが氷解していくように。入会した私はもう、ひとりではありませ

安心な場 SNSで新婦人を知り、入会。「新婦人は安心して話せる場、安心して声をあげられる場」という言葉どおり、そこそ新婦人の強み。国連NGOで、安全に声をあげたり、自分のペースで人とつながれることを、ぜひ周囲にも知ってほしい。それが次世代にとっても大きな希望になるに違いない。せん。(20代)



前向き人生

1人暮らしだった87歳のIさんが亡くなり、お葬式に班から参列しました。お坊さんが「身寄りのない方なのにこんなに見送りに参加があるのは珍しい」と。退職後、新婦人に入り、サンダル履きで来られる班会に毎回参加していたIさん。病床で「政治、おかしいよ」と言い、若い人の国会前スピーチをスマホで聞いてもらいました。新婦人があって、居場所があってよかった。前向きな人生、すてきだったね、としみじみ。(70代)

新婦人はこんな会です

新婦人は「新日本婦人の会」(New Japan Women's Association)の略。1962年に平塚らいてう(女性運動家)、いわさきちひろ(絵本画家)らのよびかけで「五つの目的」(本紙1面上)をもって創立された、個人参加では日本最大の女性団体です。どなたでも入会できます。

その特徴は、

①平和とジェンダー平等、要求実現へ、なんでも安心しておしゃべり・行動、政治をタブーにしない。

②全国に仲間がいて一つにつながる。

③国連NGOとして世界の女性と連帯。

全国にある7800の班、1万3000のサークルで多彩に活動。新婦人しんぶんを月3回発行、会費は月900円(しんぶん代込み)、自主的に運営しています。

戦争反対と声に

スタンディングで隣の女性に「初めてですか？」と声をかけた。すると、「戦争が不安。憲法を守りたいけど話せる人がいない。子どもたちにもアクションに参加するって言うたら、顔を隠してほしい」と言われた。後日、班会に参加し「今ほど戦争の危険を感じる時はない。新婦人と出会ってよかった。地元で戦争反対と声を出せてすっきりした」と入会。(70代)



どこでもしんぶんタイム



お出かけ先でおしゃべり(千葉)

マイナなくても生活支援実現



市の物価高騰生活支援が「マイナンバーカード」による給付申請のみで、支援が受けられない人が11万人いることがわかり、新婦人が緊急アンケート。300人の切実な声で市に迫り、市長が商品券を配布すると表明。次世代が「議会を動かした新婦人に入りたい」と入会(岐阜)

「戦争」を学ぶフィールドワークも



旧海軍航空隊司令部庁舎・展示館を親子で見学(茨城)



30人が参加した沖縄スタディーツアー(神奈川)

女性ニュース

2026.10.17

臨時国会開会

10月5日、第222回臨時国会が開会。高市首相は衆参両院の本会議で所信表明。「強い経済」の実現、軍事力の強化、安保3文書改定見直しなどを表明。改憲や衆院議員定数削減へ意欲を示した。しかし、ジェンダー平等、気候危機には言及せず。同日、衆院第2議員会館前では国会開会日行動に、250人が参加。軍拡より暮らし充実こそと声をあげた。新婦人は8日、築(やな)農水大臣の自治体への道路予算削減発言は許せない、ひ免をと高市首相に抗議文を送った。

沖縄でまた米兵が

3日未明、那覇市内のホテルで30代女性を殺害し、財布などを奪ったとして、普天間基地所属の米海兵隊員が逮捕された。沖縄では米兵による民間人への暴行や殺人が後を絶たず、沖縄を始め各地で抗議行動がおこなわれた(写真1面)。新婦人は抗議の談話(4面)を発表。「女性への暴行を許さない！」官邸前緊急行動にとりくんだ。

比例定数削減反対

研究者、弁護士、市民団体代表な

ど40人の女性が呼びかけ人となった「議員定数削減反対！緊急アクション」は6日、参院議員会館で院内集会を開催。会議には多くの野党の国会議員、市民が300人を超えてつどい(オンライン約270人)、衆院比例定数削減法案で「切られるのは民意」「女性や多様な声が国会に届かなくなる」と廃案を求め行動していくことを確認した(詳報は次号)。

日本は核廃絶の先頭に

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)は7日、東京都内で結成70年記念式典と祝賀会を開催し、新婦人から米山淳子会長も出席。翌8

日には、日本被団協、原水爆禁止日本協議会(原水協)、原水爆禁止日本国民会議(原水禁)日本生協連、日本青年団協議会、核兵器をなくす日本キャンペーンの6団体署名共同提出集会、国会前集会が行われ「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」が累計382万715人分(うち新婦人68万4337人分)となった。

